

JFA中期計画2019-2022

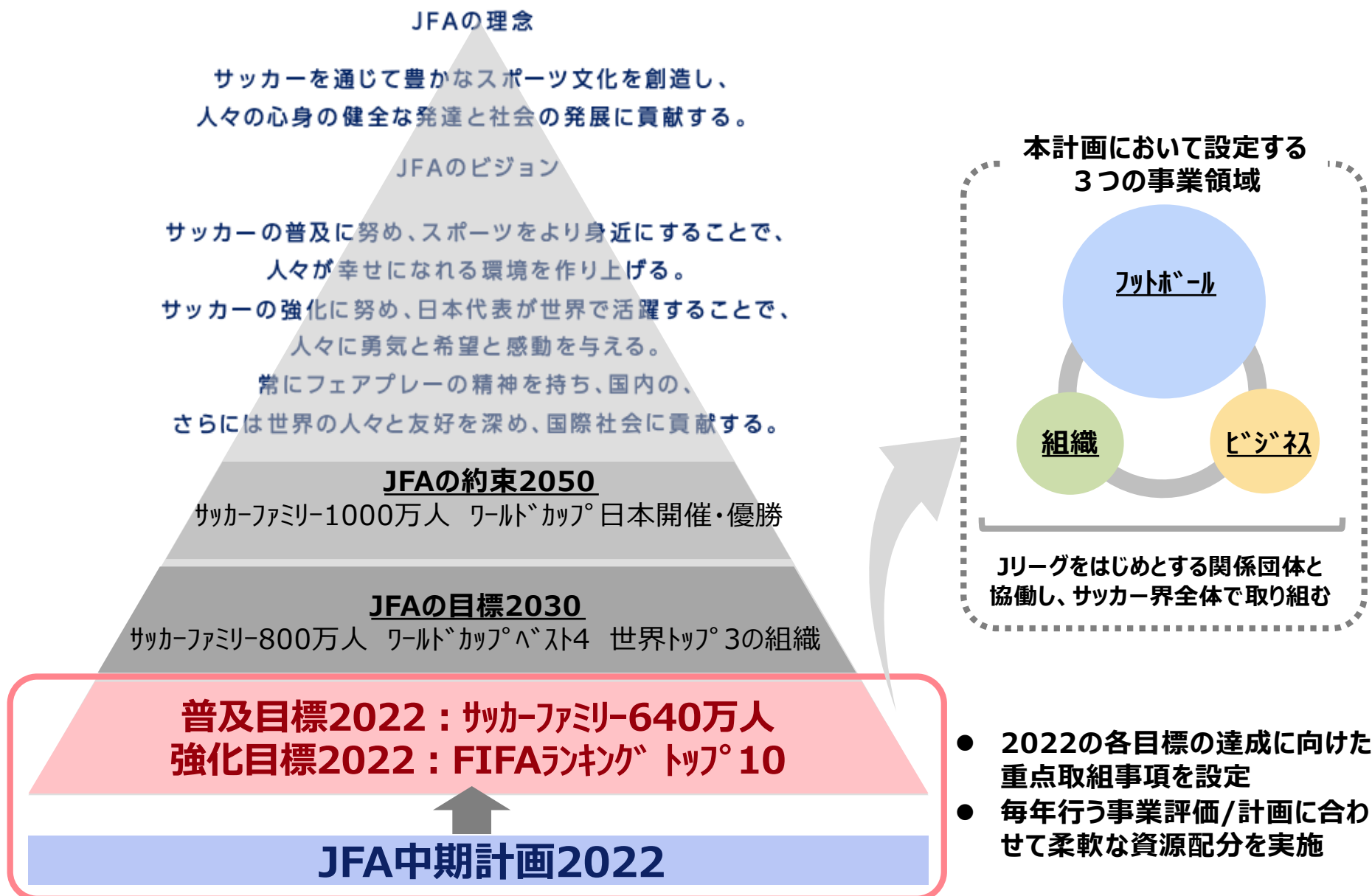
Japan Football Association

JFA



- 1. JFA中期計画2019-2022の位置づけ**
- 2. JFA中期計画2015-2022の振り返り(2015-2018)**
- 3. JFA中期計画2019-2022**
 - 計画策定のコンセプト**
 - 事業3領域の構造と成功要因**
 - 2022年に向けた重点取組事項**

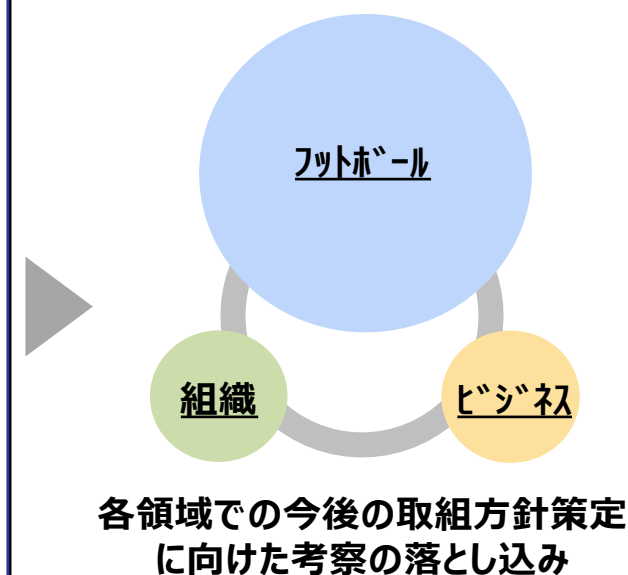
1. 中期計画2019-2022の位置づけ



2. JFA中期計画2015-2022の振り返り

- JFA中期計画2015-2022の振り返りにあたっては、計画に記載されている「アクションプラン2022」における11事業領域についての評価をもとに実施
- この振り返りをもとに、フットボールを最重要事業領域と位置づけ、それを支える組織領域・ビジネス領域とともに、次期中期計画策定に向けた考察を加えるアプローチを実施

JFAミッション2015-2022	アクションプラン2022
Mission1 普及施策の推進 (JFAグラスルーツ宣言)	(1) 普及推進
Mission2 施設整備の推進 (JFAグリーンプロジェクト)	(2) 国内競技会
Mission3 日本代表の強化	(3) 審判
Mission4 育成環境の充実	(4) 指導者
Mission5 国際競技会の充実	(5) 育成
Mission6 Jリーグとの協働	(6) 代表強化
Mission7 国際力の強化と社会貢献の充実	(7) 国際競技会
Mission8 組織基盤の強化 (JFAリフォーム)	(8) マーケティング
	(9) トップリーグ連携
	(10) 地域/都道府県協会連携
	(11) 基盤
	<input type="checkbox"/> 女子サッカー
	<input type="checkbox"/> フットサル・ビーチサッカー



2. JFA中期計画2015-2022の振り返り（振り返りからの考察）

フットボールの持続的な発展に向け、今後優先的に取り組むべき事項を、以下に集約

フットボール	
<ul style="list-style-type: none">・日本人のストロングポイントを生かしたスタイルの追求と連動した育成・強化システムの推進・国内外のサッカーの動向や気候変動等に対応するプレー環境の再整備・暴力・暴言への毅然とした対応・女子プレーヤーの増加に向けたプレー環境のさらなる充実・キッズから4種の年代でサッカーに最初に触れた日から継続的にプレーする状態への誘導・学校運動部活動を取り巻く環境の変化への機敏な対応・誰もがいつでも身近なところでサッカー(する、見る、支える)を楽しめる機会の提供	
組織	ビジネス
<ul style="list-style-type: none">・適切な事業評価と資源配分・47FAの組織基盤強化に向けたガバナンス力と収益力の強化	<ul style="list-style-type: none">・個々のサッカーファミリーとのつながりを強化・日本代表コンテンツや広告等の露出のみに頼らないビジネスモデルの確立

3. JFA中期計画2019-2022 計画策定のコンセプト

フットボールを通じて、スポーツを日常の一部に。

常にプレーヤーズファースト、リスペクトの観点に立って、フットボール領域を中核としたあらゆる活動に真摯に取り組むことで、スポーツが人々の人生を豊かにする「真のスポーツ文化」を創造する。



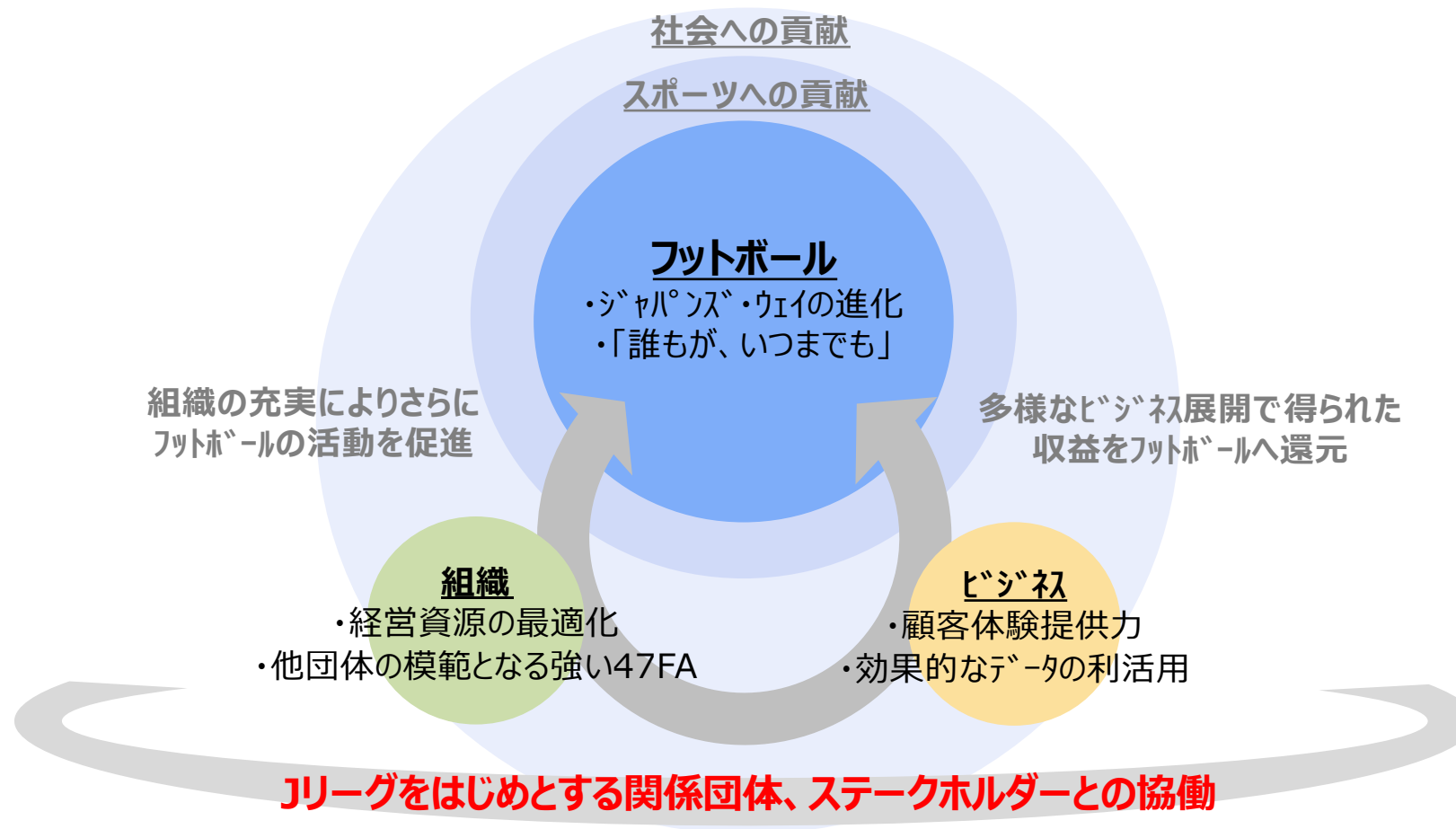
JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

3. JFA中期計画2019-2022 事業領域と成功要因

フットボールを最重要事業領域と位置づけ、組織領域・ビジネス領域がそれを支える。

フットボールを基軸として、組織とビジネスの充実によりフットボールの発展をさらに加速化し、スポーツ、社会への貢献を通じて「真のスポーツ文化」創造の源泉となる。



3 .JFA中期計画2019-2022 2022年度に向けた重点取組事項(まとめ)

フットボール

代表チームの活躍は、フットサル、ビーチサッカー、アンダー世代を含め、サッカーの発展に必要不可欠。世界トップ10入りのためにも、女子ワールドカップフランス2019でのなでしこ復権、2020東京オリンピックでのメダル獲得、そして2022ワールドカップカタール2において過去最高の成績の達成を目指す。

<テーマ>

各種国際大会での強い存在感の発揮
「誰もが」「いつでも」「どこでも」の
フットボールライフの実現

<目指す方向性>

日本代表アテンションの醸成と
「ジャパンス・ウェイ」の進化
活動の谷間を作らない環境整備

組織

ビジネス

日本サッカー発展の推進体制を盤石なものへ

<テーマ>

持続的成長を実現
する組織基盤づくり

47FAの強い
経営基盤の構築

<目指す方向性>

資源マネジメント
の最適化

FAの自主的・自発的
な取組の充実・拡大

個人のサッカーライフの充実をビジネスの価値へ

<テーマ>

一人ひとりにより深く
サッカーに関わってもらう

既存の枠に囚われない
新収益モデルの創造

<目指す方向性>

いつもサッカーに触れて
いる環境の実現

サッカーで得たデータの
顧客価値への転換

3 .JFA中期計画2019-2022 2022年度に向けた重点取組事項(フットボール)

<テーマ>	<目指す方向性>	<取組事項>	<2022年までのKPI>
各種国際大会での強い存在感の発揮	日本代表アイデンティティの醸成と「ジャパンス・ウェイ」の進化	<ul style="list-style-type: none"> 世界レベルの枠組みや気候の変動に対応するカンガ-改革 リーグとの連携 暴力・暴言の根絶に向けた「ゼロ・トランス」の実現 	<ul style="list-style-type: none"> サマライブルワールドカップ杯ベスト8ワールドカップW杯優勝 東京オリンピック男女メダル獲得 フットサル代表ワールドカップベスト4 ビーチサッカー代表ワールドカップベスト4
「誰もが」「いつでも」「どこでも」のフットボールライフの実現	活動の谷間を作らない環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の上位ライセンス取得促進 審判トレーニングセンターの充実 女子カテゴリの環境整備 登録の有無や障がい、国籍等にかかわらずグラスルーツで活動するサッカーファミリーへのアプローチ サッカー・スポーツを通じた社会の課題解決の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての指導者・審判員が資格取得・更新の必須要件としてコンプライアンス教育を受けている 全ての47FAでの技術担当者専任化 B級ライセンス保持者10,000人 U-15女子選手権の冬移行とU-18女子チャンピオンシップの創設 外部機関と連携したサッカーをテーマとする健康増進プログラムの開発

3 .JFA中期計画2019-2022 2022年度に向けた重点取組事項(組織)

<テーマ>	<目指す方向性>	<取組事項>	<2022年までのKPI>
持続的成長を実現する組織基盤づくり	資源マネジメントの最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・JFAにおける各機関・部署のあるべき姿を追求し、適正な役職員を配置 ・インテリジェンスの拠点としてのJFA夢フィールドの最大限の活用 ・事業及び人事における計画・予算・実行・評価サイクルの徹底 ・専門的知見の導入によるガバナンス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアのフットボール、日本のスポーツ界をリード、世界でトップ5の組織となっている ・JFA夢フィールドを核としてJリーグをはじめとした各拠点を連動させる基盤の整備 ・事業評価・財務・人事の一元的な管理を可能とする組織の編成
47FAの強い経営基盤の構築	FAの自主的・自発的な取組の充実・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーである各団体との交流による人材の発掘及び育成、輩出 ・補助金や登録料収入だけに頼らない収益基盤の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識を有する人材の登用を推進する組織の整備 ・47FAの自主的活動に基づく事業収入を各FA平均3%増やす

3 .JFA中期計画2019-2022 2022年度に向けた重点取組事項(ビズィネ)

<テーマ>	<目指す方向性>	<取組事項>	<2022年までのKPI>
一人ひとりにより深くサッカーに関わってもらう	いつもサッカーに触れている環境の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な切り口によるライト層へのアプローチ ・全てのファミリーが参加できる「サッカーと関わる場」の設計 ・ファミリー一人ひとりの志向に合わせたサービスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのJFAサービスのID統合 ・ライト層と関わるツール(プラットフォーム)の製作と運用 ・サッカーファミリー300万人のデータベースを管理 ・新たなスポンサーシップスキームの開発
既存の枠に囚われない新収益モデルの創造	サッカーで得たデータの顧客価値への転換	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーを通じたパートナーとの協業推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年以降のスポンサー契約更新と、FIFA/AFCの動向を踏まえた収入の最適化